

## 【議事】 会長及び副会長の選出について（報告）

このことについて、以下のとおり報告いたします。

### 1 会長及び副会長の選出方法を事務局推薦とすることについて

承認する	14名
承認しない	0名
棄権	1名

### 2 会長及び副会長の選出について

承認する	14名
承認しない	0名
棄権	1名

以上により、

役職	フリガナ 氏名	所属等
会長	イワタ ノリカズ 岩田 典一	苫小牧市町内会連合会 理事
副会長	コバヤシ ヒロコ 小林 裕子	公募

を承認する。

第1回苫小牧市環境基本計画推進会議(書面開催)の各意見に対する回答

No.	意見	苫小牧市回答	担当課
1	<p>【ウトナイ湖漁業体験】について アンケート結果は「たのしかった」という子どもらしいといえども子どもらしい回答ですが、本当に学びのあったイベントだったのだろうか疑問に思います。せせらぎスクールの結果はそれを感じさせますが・・・</p>	<p>委員の皆様へ送付した資料では、事務局側でアンケート結果を抜粋して記載しましたが、その他の回答では「子どもたちが魚とふれあえたり、勉強できたこと」や「ウトナイ湖の魚のことがよくわかった」といった回答があり、実際の体験でも『パックテストを用いた水質結果や魚の生息』について説明を交えていることから、学びのあったイベントになったのではないかと考えております。</p>	環境保全課
2	<p>【突撃！とまエコ企業】について バイオマス発電は、最初の時点でどんな工場なのかが分かりやすく見やすかったのですが、イワクラの方はパーティクルボードという言葉を知らなかったのも、何を使っているのか途中までよくわかっていませんでした。最初に商品を見せて、興味を引き付けると良いのかも？と思いました！</p> <p>また、工程の中で商品が変化していく過程をもう少しズームUPして、見せてもらえると、より「うわあ！すごい！」と感動できると思います。</p> <p>また、バイオマスに話が戻りますが、そちらも例えば4人家族の一軒家で1日に必要な電気を作るのに、間伐材何本必要になります等の私たちの生活に結びつくような具体的な情報が入っていると、より面白いのかな？なんて思いました。</p> <p>こうやって、地域企業の取組を発信するのは大切だと思います！無理しない程度に頑張って続けて広めてください！</p>	<p>当事業はコロナ禍における環境啓発はもとより、子どもたちへの環境教育、市内外への企業PR、企業の環境保全意識の醸成等に繋がるものと考えております。</p> <p>一般の方でもわかりやすい動画構成や、興味が沸く情報発信等、多くの方に視聴していただけるよう改善・工夫してまいります。</p>	環境保全課
3	<p>【環境基本計画の評価】について 国際的指針である、「脱炭素社会」「SDGs」の取組評価をしてはどうか。環境基本計画に十分に織り込まれていますので。</p>	<p>「苫小牧市第3次環境基本計画(概要版)について」でも説明をさせていただきましたが、来年度は計画の中間見直し時期となります。</p> <p>本市における地球温暖化対策は、自然的社会的条件に応じた創意工夫により、温室効果ガス排出の抑制だけでなく、本市の目指す将来像等を構想する必要がありますので「脱炭素社会」「SDGs」を加味した検討・整理を行ってまいります。</p>	環境保全課

No.	意見	苫小牧市回答	担当課
4	<p>【その他(ゴミの再資源化について)】          ゴミの再資源化について、再資源化した例をもっと見える化してはどうか。          (身近で使われているものはないのか。市内のどんな企業がどんな製品にして、どのように販売されているのか。)          リサイクルプラザ等で公開されているのかもしれないが、年間の利用者は限られているので、市民に広く見える化できる方法を考えてほしい。</p>	<p>ごみとして排出された資源物が、どのように再生利用されているかについて周知することは、ごみの分別とリサイクルの推進を図る上で、非常に大事な視点だと考えております。          これまでも、リサイクルの代表的な事例について市ホームページやJFEリサイクルプラザ苫小牧での展示、出前講座などで周知していましたが、今後も広報紙や各マスコミ、SNS媒体などを通じて広く市民周知する方法について検討してまいりたいと考えております。</p>	ゼロごみ推進課
5	<p>【その他(公用車について)】          公用車や行政で使用している車両のクリーン化目標は定めないのでか？          (電気自動車など)</p>	<p>現在、市の公用車のうち、次世代型自動車は10台となっております。          公用車は、導入コストや汎用性などを考慮し、軽自動車やライトバンが多くを占めております。          次世代型自動車の導入拡大については、軽自動車やライトバンのような車種においても次世代型自動車が開発され、普及状況、導入コスト、ランニングコスト及びインフラの整備状況などの様々な課題を整理する必要があると認識しております。</p> <p>※次世代型自動車とは、ハイブリッド自動車、電気自動車、燃料電池(水素)自動車等の、地球温暖化の原因となるCO2の排出量が0の車や、排出量が少なく燃費性能が優れている等、環境にやさしい自動車を総称したものです。</p>	環境保全課 管財課
6	<p>【その他(森林資源について)】          苫小牧市は工業都市のイメージが強く、支笏湖近辺や樽前山は領域としては千歳のイメージが強いことから、森林資源が少ないというイメージがある。森林資源を活用した観光PRが少なく、特に樽前ガローにおいては自然を「見せる」為の工夫が足りていないと強く思う。森林資源を活用した観光PRへ力を入れてほしい。</p>	<p>本市は樽前山麓の広大な森林をはじめ、湖沼群や湿原、全国屈指の渡り鳥の中継地でラムサール条約にも登録されているウトナイ湖など森林資源を含め、自然豊かな都市だと考えております。初心者でも登りやすい樽前山登山やウトナイ湖畔のバードウォッチングなど森林資源を活かし、観光情報誌などPRに努めています。          樽前ガローは、自然環境保全地区に指定されております。そのため、地形や植生などを壊すことなく、自然を守りながら、ありのままの景色を楽しむという環境保全と観光との両立を考慮し、情報発信しております。観光の面だけではなく、自然景観を守っていくことも大切な責務と考えております。          自然環境保護も念頭に置きながら、観光PRに注力してまいります。</p>	観光振興課

No.	意見	苫小牧市回答	担当課
7	<p>【その他(森林資源について)】            苫小牧市の街中には、緑ヶ丘公園や図書館の公園等、緑は多いと思うが、近郊での活用が少ないのではと感じる。公共施設にふんだんに木材を使用する等の活用に力を入れてほしい。</p>	<p>今後の「脱炭素社会」や「SDGs」の観点から、非常に重要な観点であると考えております。            二酸化炭素の吸収源として、また豊かな自然を活かすため、公共施設への木材利用は、今後も推進していきたいと考えております。</p>	<p>環境保全課            建築課</p>
8	<p>【その他(森林資源について)】            市内で木材をふんだんに活用した公共施設があるのか教えてほしい。</p>	<p>近年では、双葉町の児童相談複合施設や、みその保育園の新園舎が木造で建てられております。また、建物主体が鉄筋・鉄骨であったとしても、勇払小学校等のように、一部教室を梁が見える天井にすることで、木の温かみを感じられるようにする等、市内の公共施設においても木材は幅広く活用されております。</p>	<p>環境保全課</p>
9	<p>【その他(自給率評価について)】            苫小牧市のあらゆる分野での、自給率評価(食料・エネルギー他)を示すことはできないのか。</p>	<p>自給率の算定に用いる基礎数値の把握が困難なことから自給率を算出していないため、自給率評価を行うことは難しいと考えております。</p>	<p>環境保全課</p>